

認知症

とともに

自分らしく

生きていく

5人に1人

認知症は誰にでも起こりうる病気です。2025年には、認知症の人は全国で約700万人、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。認知症は、あなたの大切な人やあなた自身にとっても身近な病気です。

認知症という病気は人生の一部

誰もが、認知症を理解し、支え合う環境、認知症になっても、人生を自分らしく生きていくために、安心して過ごせるまちづくりに向けて、今後も認知症に関する取り組みを進めます。身近な人、もしくは自分自身に気になる症状や言動が増えてきたと感じたら、安中市地域包括支援センターに相談してください。

9月は世界アルツハイマー月間です

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、国内外問わずさまざまな取り組みを行っています。

市は、これまでさまざまな認知症に関する取り組みをしてきました。今年の10月から、見守り体制をさらに充実させるため、新たに見守りシール交付事業を開始します。